

#### 4 米

##### (1) 国際的な米需給の概要（詳細は右表を参照）

〈米国農務省（USDA）の見通し〉

【生産量】 2014/15年度 前年度比 **↑** 前月比 **—**

生産量は、中国等のアジアで増産となることから、世界全体で増加し、史上最高の480.7百万トンとなる見込み。

なお前月からの予測の改訂は、行われていない。

【消費量】 2014/15年度 前年度比 **↑** 前月比 **↓**

消費量は、中国、インド等で前年度より増加することから、世界全体で増加し、史上最高の482.2百万トンとなる見込み。

なお前月からの予測の改訂は、世界全体で下方修正された。

【貿易量】 2014/15年度 前年度比 **↑** 前月比 **↑**

世界全体の貿易量は、前年度より増加し、41.4百万トンとなる見込み。

輸出国では、タイ等で増加、インドで減少する見込み。一方、輸入国では、ナイジェリア等で増加、インドネシア、フィリピンで減少する見込み。

なお前月からの予測の改訂は、世界全体で上方修正された。

【期末在庫量】 2014/15年度 前年度比 **↓** 前月比 **↑**

期末在庫量は、フィリピン、米国等で増加するものの、インド、中国等で前年度より減少することから、世界全体で減少し、110.7百万トンとなり、期末在庫率は23.0%と低下する見込み。

なお前月からの予測の改訂は、世界全体で上方修正され、国別にはインド等で上方修正された。

図-1 世界の米のシェア（2014/15年度）

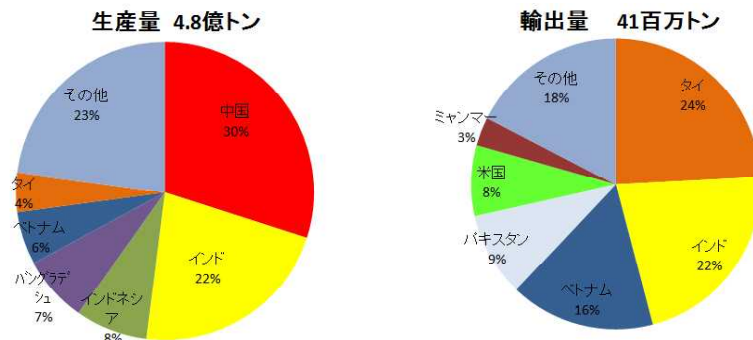


表-1 世界の米需給（米国農務省）

(単位:百万精米トン)

年 度	2012/13	2013/14 (見込み)	2014/15		
			予測値	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生 産 量	471.6	477.5	480.7	—	0.7
中国	143.0	142.3	144.0	—	1.2
インド	105.2	106.3	106.0	—	▲ 0.3
インドネシア	36.6	37.4	37.7	—	0.9
バングラデシュ	33.8	34.6	34.8	—	0.6
ベトナム	27.5	27.8	27.8	—	0.0
タイ	20.2	20.5	20.5	—	0.0
ミャンマー	11.7	12.0	12.2	—	1.6
消 費 量	468.2	475.6	482.2	▲ 0.0	1.4
中国	144.0	146.0	148.0	—	1.4
インド	94.0	96.5	98.0	—	1.6
インドネシア	38.1	38.7	39.2	—	1.4
バングラデシュ	34.5	34.6	34.8	—	0.6
ベトナム	21.9	21.5	21.5	—	0.0
フィリピン	12.9	12.9	13.2	—	2.7
タイ	10.6	10.8	10.9	—	0.9
貿 易 量 (輸出)	39.5	40.7	41.4	0.1	1.8
インド	10.9	10.0	9.0	—	▲ 10.0
タイ	6.7	9.0	10.0	—	11.1
ベトナム	6.7	6.5	6.7	—	3.1
パキスタン	3.6	3.9	3.9	—	0.0
米国	3.4	3.0	3.3	—	10.1
ミャンマー	1.2	1.3	1.3	—	0.0
カンボジア	1.1	1.0	1.2	—	20.0
(輸入)					
ナイジェリア	2.8	3.0	3.5	—	16.7
中国	3.7	3.5	3.7	—	5.7
イラン	2.1	1.7	1.7	—	3.0
フィリピン	1.4	2.0	1.8	—	▲ 10.0
インドネシア	0.7	1.5	1.0	—	▲ 33.3
EU	1.4	1.4	1.4	—	3.7
イラク	1.4	1.4	1.5	—	7.4
期末在庫量	110.2	112.1	110.7	0.9	▲ 1.3
中国	47.4	46.8	46.2	—	▲ 1.4
インド	25.4	25.2	24.2	0.8	▲ 4.0
タイ	12.8	13.8	13.7	—	▲ 0.7
インドネシア	6.5	6.7	6.2	—	▲ 7.5
日本	2.7	2.8	2.8	—	0.0
フィリピン	1.5	2.5	3.3	—	31.6
米国	1.2	1.0	1.2	0.1	14.4
期末在庫率	23.5%	23.6%	23.0%	0.2	▲ 0.6

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、  
「Grain: World Markets and Trade」、  
「PS&D」(11 June 2014)

## (2) 米の主要生産・輸出国等の需給状況

### ア 中国

【需給状況】（詳細は右表を参照）

#### （米国農務省の見通し）

生産量は、収穫面積が増加すること及び単収が上昇することから、前年度より増加し、144.0百万トンとなる見込み。

消費量は、前年度より増加し、148.0百万トンとなる見込み。

輸出量は、前年度並みの0.4百万トンとなる見込み。

輸入量は、前年度より増加し、3.7百万トンとなる見込み。

期末在庫量は、前年度より減少し、期末在庫率も31.1%に低下する見込み。

なお、前月からの予測の改訂は、行われていない。

#### 【生育進捗状況】

米国農務省「WORLD AGRICULTURAL WEATHER HIGHLIGHTS」（2014.6.11）によれば、揚子江流域では、季節外れの乾燥した天候により、米作付け地域は水不足となったが、早期米の生育は促進された。また、中国南部では、雨が多く、5月には水稻の作付けを促進する豪雨があった。

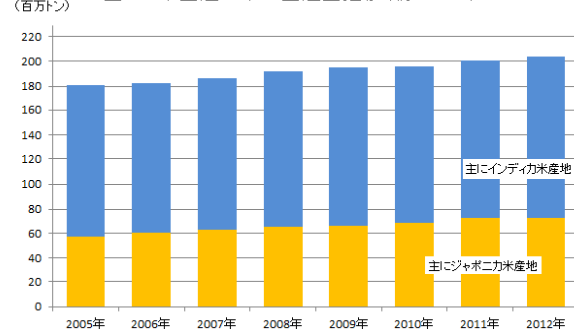
#### 【輸出入その他】

米国農務省「Rice Outlook」（2014.6.13）によれば、中国は世界最大の米生産国で、2014/15年度は史上最高の生産量と見込まれている。これは、中国政府の価格保障制度により作付面積が年々増加しているためと見られている。

中国財政部、中国農業部の公表（2014.4.10）によれば、中国現地情報が2013年に湖南省の米に国の基準を超過するカドミウムが含まれていたことを報じたことに対し、中国政府は今年、湖南省長株潭地区で重金属汚染耕地の総合的な修復作業を開始することとなった。中国財政部は、「重金属汚染耕地での環境基準を満たす米の生産を実現し、国家食糧安全および国民の食生活の安全を保障する」と表明した。

中国・国家糧食局は、2014年5月22日に2014年収穫予定の早期インディカ米（三等）の政府最低買上保障価格を1.35元（22.95円）/500gに設定したことを公表している。2013年の1.32元/500gより0.03元の引き上げとなっている。

図-2 中国産の米の生産量推移（粳ベース）



資料：中国統計年鑑、農林水産政策研究所レポートをもとに農林水産省で作成

世界の生産量シェア 1位（2014/15年度 30.0%）  
輸入量シェア 1位（2014/15年度 9.7%）

表-2 中国の米需給（市場年度：7月～翌年6月）

年 度	2012/13	2013/14 (見込み)	2014/15		
			予測値、()はFAO	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生 産 量	143.0	142.3	144.0 (141.4)	-	1.2
消 費 量	144.0	146.0	148.0 (137.2)	-	1.4
輸 出 量	0.3	0.4	0.4 (0.4)	-	0.0
輸 入 量	3.7	3.5	3.7 (3.0)	-	5.7
期末在庫量	47.4	46.8	46.2 (99.9)	-	▲ 1.4
期末在庫率	32.8%	32.0%	31.1% (68.3%)	-	▲ 0.9
(参考)					
収穫面積(百万ha)	30.14	30.43	30.60 (…)	-	0.6
単収(もみt/ha)	6.78	6.68	6.72 (…)	-	0.6

資料：USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、  
「Grain: World Markets and Trade」、「PS&D」、  
「World Agricultural Production」(11 June 2014)  
FAO 「Food Outlook (May 2014)」

写真-1 遼寧省盤錦市の水田（2014.6.7）



写真提供：(株) アイシーネット

## インド

【需給状況】（詳細は右表を参照）

### （米国農務省の見通し）

生産量は、収穫面積が増加するものの単収が低下することから、前年度より減少し、106.0百万トンとなる見込み。

消費量は、前年度より増加し、98.0百万トンとなる見込み。

輸出量は、前年度より減少し、9.0百万トンとなる見込み。

期末在庫量は、前年度より減少し、期末在庫率も22.6%に低下する見込み。

なお前月からの予測の改訂は、2013/14年度の生産量、消費量、期末在庫量が上方修正された。結果として、2014/15年度の期末在庫量が上方修正された。

### 【生育進捗状況】

国際穀物理事会（IGC）（2014.6.6 DAILY）によれば、インド気象局は、米を含む雨季作（カリフ作）の生育に影響を与える、モンスーンの降雨が南部ケララ海岸に到来したと発表。通常より到来が遅れ、平均雨量は、生育に影響をほとんど及ぼさない少雨となった。エルニーニョの発生の方が作物の生育に影響を与えるのではないかと予想している。

インド農業省によれば、2014年3月7日現在、乾季米（ラビ米）の作付けが、4.1百万ヘクタールに達している（前年同時期3.7百万ヘクタール）。

また、2013/14年度の米の生産量を106.19百万精米トン（2012/13年度105.24百万精米トン）と予測していることを公表。生産量の増加は、乾季米（ラビ米）等の作付けが増加していることが主な要因と見られている。

### 【輸出その他】

IGC（2014.6.17 DAILY）によれば、全インド米輸出者協会（AIREA）は、インドは2014年度もバスマティ米と非バスマティ米共に世界最大の米輸出国であると予測している。

また、IGC（2014.6.18 DAILY）によれば、インド農業大臣は、政府備蓄米の500万トン（精米ベース）を国内のインフレを抑制するため、入札で、国内市場に放出する旨公表している。

インド政府は、食料備蓄政策として公的分配制度（PDS: Public Distribution System）があり、米等の穀物について適正備蓄を設定し、最低支持価格で買入れ、貧困層に安く配分することで、農家と貧困層の両方をサポートする制度を実施している。2013年には食料安全保障法が成立し、PDSの対象者が拡大、米等の穀物の買入れが増加し、政府財政負担が増加すると見込まれている。

（世界の生産量シェア 2位（2014/15年度 22.1%）  
輸出量シェア 2位（2014/15年度 21.7%）

表－3 インドの米需給（市場年度：10月～翌年9月）

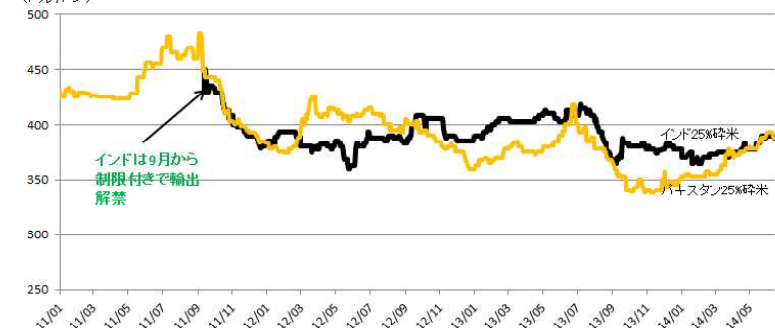
年 度	2012/13	2013/14 (見込み)	2014/15		
			予測値、()はFAO	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生 産 量	105.2	106.3	106.0 (107.0)	-	▲ 0.3
消 費 量	94.0	96.5	98.0 (97.3)	-	1.6
輸 出 量	10.9	10.0	9.0 (9.8)	-	▲ 10.0
輸 入 量	0.0	0.0	0.0 (0.1)	-	...
期末在庫量	25.4	25.2	24.2 (23.0)	0.8	▲ 4.0
期末在庫率	24.3%	23.7%	22.6% (21.5%)	0.7	▲ 1.0

(参考)

収穫面積(百万ha)	42.41	43.50	44.00 (…)	-	1.1
単収(もみt/ha)	3.72	3.67	3.61 (…)	-	▲ 1.6

資料：USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、  
「Grain: World Markets and Trade」、 「PS&D」、  
「World Agricultural Production」 (11 June 2014)  
FAO 「Food Outlook (May 2014)」

図-3 インド碎米とパキスタン碎米の輸出価格(6月16日現在)



－インドの輸出価格は、2014年6月も大きな変動は見られない－

資料：IGC資料をもとに農林水産省で作成

## ウ タイ

【需給状況】（詳細は右表を参照）

### 〈米国農務省の見通し〉

生産量は、前年度並みの20.5百万トンとなる見込み。  
消費量は、前年度より増加し、10.9百万トンとなる見込み。  
輸出量は、前年度より増加し、10.0百万トンとなる見込み。  
期末在庫量は、前年度より減少し、期末在庫率は65.6%に低下する見込み。  
なお、前月からの予測の改訂は、行われていない。

### 【生育進捗状況】

タイ農業協同組合省農業経済局（OAE）によれば、2013年度の雨期米は、作付面積が約10.3百万ヘクタール、収穫面積は9.9百万ヘクタールとなる見込み。

### 【貿易情報等】

米国農務省「Rice Outlook」（2014.6.13）によれば、タイは、2015年に米の輸出量が10.0百万トンとなり、世界第1位の輸出国に返り咲くとみられている。輸出量が増加する要因としては、価格競争力と供給力が高まったことによる。その背景として、タイ政府は過去に買入れをした政府在庫米を2014年1月以降放出していること等が挙げられる。

IGC（2014.5.30 DAILY）によれば、タイ政府は、米価の調査（価格の下落要因等）のために、政府在庫米からの輸出を停止させた。ただし、民間在庫は輸出が出来るとしている。

タイ商務省は、農業先物取引委員会（AFET）を通じ、政府在庫米を競売にかけるとしているが、新しい政府からの承認がまだ出ていない模様。

またIGC（2014.6.2 DAILY）によれば、タイ財務省は、2014年2月末に終了した米担保融資制度において、本制度を利用した米農家への出来るだけ早い米代金支払いを確実にするために、銀行からの借入を加速させている。現地報道によれば、政府は、米農家へ28億ドル（約2,850億円）支払うことを表明した。

さらにIGC（2014.6.4 DAILY）によれば、タイ国家米輸出者協会（TREA）は、2014年の米の輸出価格が低下するため、輸出量予測を、当初から1.5百万トン増加の9.0百万トン（前年6.6百万トン）に見直した。

世界の生産量シェア 6位（2014/15年度 4.3%）  
輸出量シェア 1位（2014/15年度 24.2%）

表-4 タイの米需給（市場年度：翌年1月～翌年12月）

年 度	2012/13	2013/14 (見込み)	2014/15		
			予測値、()はFAO	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生 産 量	20.2	20.5	20.5 (24.8)	-	0.0
消 費 量	10.6	10.8	10.9 (15.1)	-	0.9
輸 出 量	6.7	9.0	10.0 (8.7)	-	11.1
輸 入 量	0.6	0.3	0.3 (0.3)	-	0.0
期末在庫量	12.8	13.8	13.7 (19.3)	-	▲ 0.7
期末在庫率	74.0%	69.7%	65.6% (81.1%)	-	▲ 4.1
(参考)					
収穫面積(百万ha)	10.84	10.90	10.90 (…)	-	0.0
単収(もみt/ha)	2.82	2.85	2.85 (…)	-	0.0

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、  
「Grain: World Markets and Trade」、「PS&D」、  
「World Agricultural Production」(11 June 2014)  
FAO「Food Outlook (May 2014)」

### 写真-2

中部スパンブリー県 水田の代かき（2014.5.10）



写真提供：Steven Lo - VIGOS RESEARCH TEAM



## エ ベトナム

【需給状況】（詳細は右表を参照）

### （米国農務省の見通し）

生産量は、前年度並の27.8百万トンとなる見込み。

消費量は、前年度並の21.5百万トンとなる見込み。

輸出量は、前年度より増加し、6.7百万トンとなる見込み。

輸入量は、前年度より増加し、0.3百万トンとなる見込み。

期末在庫量は前年度より減少し、期末在庫率も2.7%に低下する見込み。

なお、前月からの予測の改訂は、行われていない。

### 【生育進捗状況】

ベトナム農業農村開発省（MARD）によると、5月中旬までに南部（メコンデルタ）の夏秋作の作付面積は、約135.4万ヘクタール（前年比97.4%）となっている。

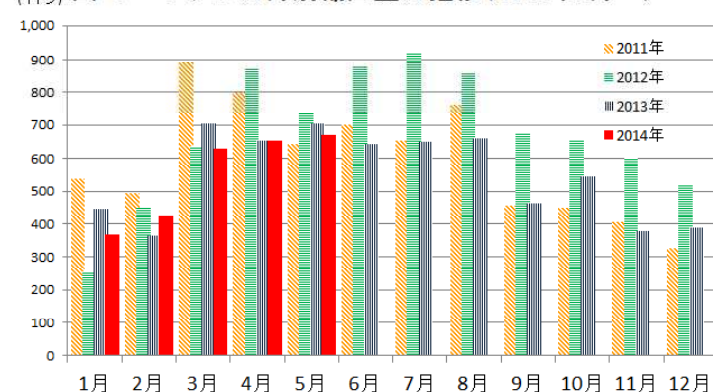
2013/2014年度の冬春作の米の収穫面積は115.9万ヘクタールで、前年度の冬春作と比べて約1,500ヘクタールの減少であった。米の単収は約62.4トン/ヘクタールで、前年度の冬春作を約0.5トン上回り、米の生産量は720万トンとなっている。

### 【輸出その他】

ベトナム税関データによれば、2014年5月の輸出量は、対前年同月比4.7%減の67.2万トンとなっている。なお、前月に中国が輸出先シェアの50%を越えていたが、シェアは37%と低下し、25.1万トン（対前年同月比26%減）となっている。

IGC（2014.5.29 DAILY）によれば、輸出関係者は、ベトナム政府が、最低輸出価格（ベトナム食糧協会（VFA）によって設定される最低価格）を廃止し、民間の輸出業者が自由に価格設定を行うことを許可する旨伝えている。

図-4 ベトナムの月別輸出量の推移（2011年1月～）



資料：ベトナム税関総局、ベトナム統計局をもとに農林水産省で作成

世界の生産量シェア 5位（2014/15年度 5.8%）  
輸出量シェア 3位（2014/15年度 16.2%）

表-5 ベトナムの米需給（市場年度：翌年1月～翌年12月）

（単位：百万精米トン）

年 度	2012/13	2013/14 (見込み)	2014/15			
			予測値、()はFAO	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)	
生 産 量	27.5	27.8	27.8 (29.5)	-	0.0	
消 費 量	21.9	21.5	21.5 (22.1)	-	0.0	
輸 出 量	6.7	6.5	6.7 (7.2)	-	3.1	
輸 入 量	0.1	0.2	0.3 (0.5)	-	50.0	
期末在庫量	0.9	0.9	0.8 (4.8)	-	▲ 11.8	
期末在庫率	3.0%	3.0%	2.7% (16.4%)	-	▲ 0.4	

（参考）

収穫面積(百万ha)	7.86	7.81	7.78 (…)	-	▲ 0.4
単収(もみt/ha)	5.60	5.70	5.72 (…)	-	0.4

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、  
「Grain: World Markets and Trade」、「PS&D」、  
「World Agricultural Production」(11 June 2014)  
FAO「Food Outlook (May 2014)」

写真-3 南部メコンデルタ 籾の乾燥 （2014.5）



写真提供：Ho Cao Viet

## オ 米国

【需給状況】（詳細は右表を参照）

### （米国農務省の見通し）

生産量は、収穫面積が増加することから、前年度より増加し、6.8百万トンとなる見込み。

消費量は、前年度より増加し、4.1百万トンとなる見込み。

輸出量は、前年度より増加し、3.3百万トンとなる見込み。

輸入量は、前年度並の0.7百万トンとなる見込み。

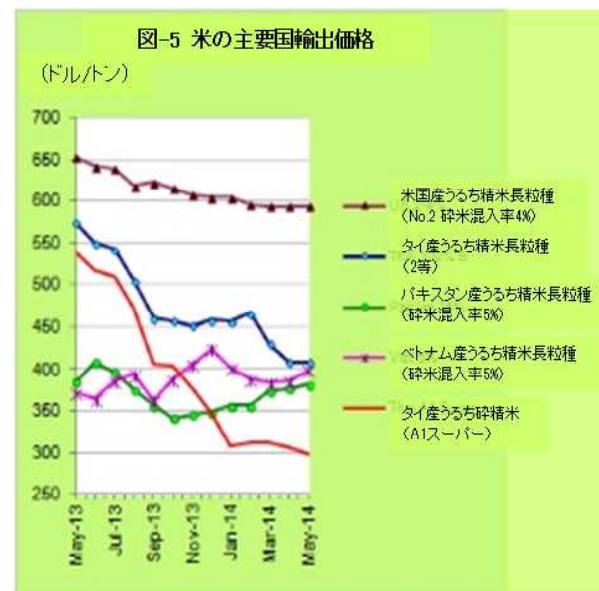
期末在庫量は、前年度より増加し、期末在庫率は16.2%に上昇する見込み。

なお、前月からの予測の改訂は、2013/14年度の輸出量が下方修正された。結果として、2014/15年度の期末在庫量が上方修正された。

### 【生育進捗状況】

米国農務省公表の「Crop Progress」（2014.6.16）によると、6月15日現在の発芽率は、主要6州で99%であり、前年同時期の97%、5カ年平均の96%と共に上回っている。作付けの遅れていたカリフォルニア州は、5カ年平均の82%を上回る95%となっている。また生育概況は、主要6州で「優」と「良」を合わせて、69ポイントであり僅かながら前年度を上回っている。

米国農務省「Rice Outlook」（2014.6.13）よれば、2014/15年度の中短粒種の生産量は、前年に比べて10%低下すると見込まれている。生産量の低下は、干ばつが要因で、中短粒種の生産が多いカリフォルニア州で貯水量が少ないことから、作付面積の減少が見込まれる。一方、南部は中短粒種の生産量が前年に比べて増加すると見込まれている。



-米国の輸出価格は低下している-

FAO「rice price update」(June 2014)より農林水産省にて加工

〔世界の輸出量シェア 5位 (2014 /15年度 7.9%)〕

表-6 米国の米需給 (市場年度: 8月~翌年7月)

年 度	2012/13	2013/14 (見込み)	2014/15		
			予測値、()はFAO	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生 産 量	6.3	6.1	6.8 (6.9)	-	11.3
消 費 量	3.8	4.0	4.1 (3.8)	-	3.3
輸 出 量	3.4	3.0	3.3 (3.3)	-	10.1
輸 入 量	0.7	0.7	0.7 (0.7)	-	0.0
期末在庫量	1.2	1.0	1.2 (0.9)	0.1	14.4
期末在庫率	16.2%	15.0%	16.2% (12.7%)	1.2	1.2

(参考)

収穫面積(百万ha)	1.08	1.00	1.15 (…)	-	15.0
単収(もみt/ha)	8.35	8.62	8.37 (…)	-	▲ 2.9

資料: USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、  
「Grain: World Markets and Trade」、「PS&D」、  
「World Agricultural Production」(11 June 2014)  
FAO 「Food Outlook (May 2014)」

写真-4 ルイジアナ州カプラン地方 (2014.5.15)



写真提供: Dr. Neal Blue, Consultant, Columbus, OH

## カ フィリピン

### 【需給状況】

表－7 フィリピンの米需給（市場年度：7月～翌年6月）

年 度	2012/13	2013/14 (見込み)	2014/15		
			2014/15		
			予測値、()はFAO	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	11.4	11.9	12.2 (12.6)	-	2.6
消費量	12.9	12.9	13.2 (13.4)	-	2.7
輸出量	0.0	0.0	0.0 (…)	-	…
輸入量	1.4	2.0	1.8 (1.4)	-	▲ 10.0
期末在庫量	1.5	2.5	3.3 (2.5)	-	31.6
期末在庫率	0.1	0.2	0.3 (…)	-	5.5
(参考)					
収穫面積(百万ha)	4.70	4.82	4.89 (…)	-	1.5
単収(もみt/ha)	3.86	3.92	3.96 (…)	-	1.0

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、  
「Grain: World Markets and Trade」、「PS&D」、  
「World Agricultural Production」(11 June 2014)  
FAO「Food Outlook (May 2014)」

IGC(2014.6.10 DAILY)によれば、地方からの情報では、2014/15年度の生産量が、19.1百万トン（前年比3%増）と予測している。政府は、ハイブリッド米の作付けを増加させる意向。

## キ インドネシア

### 【需給状況】

【世界の生産量シェア 3位（2014/15年度 7.8%）】

表－8 インドネシアの米需給(市場年度：翌年1月～翌年12月)

年 度	2012/13	2013/14 (見込み)	2014/15		
			2014/15		
			予測値、()はFAO	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	36.6	37.4	37.7 (45.4)	-	0.9
消費量	38.1	38.7	39.2 (45.7)	-	1.4
輸出量	0.0	0.0	0.0 (…)	-	…
輸入量	0.7	1.5	1.0 (1.1)	-	▲ 33.3
期末在庫量	6.5	6.7	6.2 (6.4)	-	▲ 7.5
期末在庫率	17.0%	17.3%	15.8% (…)	-	▲ 1.5
(参考)					
収穫面積(百万ha)	12.19	12.05	12.16 (…)	-	0.9
単収(もみt/ha)	4.72	4.88	4.88 (…)	-	0.0

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、  
「Grain: World Markets and Trade」、「PS&D」、  
「World Agricultural Production」(11 June 2014)  
FAO「Food Outlook (May 2014)」

IGC (2014.6.11 DAILY)によれば、政府は、国内の生産が少ないことやインフレのため、インドネシアの米の輸入量は、1.3百万トン(前年0.7百万トン)へ増加すると予想される。

## ク ブラジル

### 【需給状況】

表－9 ブラジルの米需給（市場年度：翌年4月～翌々年3月）

年 度	20012/13	2013/14 (見込み)	2014/15		
			2014/15		
			予測値、()はFAO	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	8.0	8.6	8.5 (8.6)	-	▲ 1.2
消費量	7.9	8.1	8.2 (7.7)	-	1.2
輸出量	0.8	1.0	0.9 (0.9)	-	▲ 5.3
輸入量	0.6	0.7	0.7 (0.7)	-	0.0
期末在庫量	0.5	0.8	0.9 (1.1)	-	19.2
期末在庫率	5.5%	8.7%	10.3% (…)	-	1.6
(参考)					
収穫面積(百万ha)	2.39	2.48	2.45 (…)	-	▲ 1.2
単収(もみt/ha)	4.92	5.11	5.10 (…)	-	▲ 0.2

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、  
「Grain: World Markets and Trade」、「PS&D」、  
「World Agricultural Production」(11 June 2014)  
FAO「Food Outlook (May 2014)」

CONAB（2014年6月）によると、2013/14年度の生産量は12.3百万トン（粳ベース）となっている。

## ケ 豪州

### 【需給状況】

表－10 豪州の米需給（市場年度：翌年3月～翌々年2月）

年 度	2012/13	2013/14 (見込み)	2014/15		
			2014/15		
			予測値、()はFAO	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	0.8	0.7	0.7 (0.6)	-	5.7
消費量	0.4	0.4	0.4 (0.4)	0.0	▲ 2.5
輸出量	0.4	0.5	0.5 (0.5)	-	▲ 10.0
輸入量	0.1	0.2	0.2 (0.1)	-	0.0
期末在庫量	0.2	0.1	0.1 (0.1)	-	0.0
期末在庫率	22.0%	9.8%	10.5% (…)	▲ 0.2	0.7
(参考)					
収穫面積(百万ha)	0.11	0.10	0.10 (…)	-	▲ 1.0
単収(もみt/ha)	10.24	8.98	9.58 (…)	-	6.7

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、  
「Grain: World Markets and Trade」、「PS&D」、  
「World Agricultural Production」(11 June 2014)  
FAO「Food Outlook (May 2014)」

ABARES（2014年6月）によると、2014/15年度の生産量は、0.7百万トン（粳ベース）になる見通しである。